

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和3年10月22日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 11月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>



みんなでさかせよう「ふじのはな」

校長 藤田 陽子

10月4日から一斉登校が始まり、3週間がたとうとしています。この3週間は、学級や学年での通常の教育活動に段階的に取組を進めた期間でした。同時に、実施の在り方を模索していたふじづかスポーツフェスティバル（スポフェス）に向けて、一斉に準備を進めてきた時間でもありました。

例年、9月の初めにスポフェスに向けての活動を開始しますが、今年度はその開催自体が危ぶまれる状況が長く続きました。子どもたちからは、「スポフェスはできますか?」「活動はいつから始めますか?」などの質問があり、スポフェスを楽しみにする思いが伝わってきました。特に6年生からは、自分たちが運営を担うスポフェス係活動の進行を心配する様子もうかがえました。

そのようにして迎えた10月、いよいよスポフェスへの取組がスタートしました。毎年、2か月間をかけてじっくりと取り組む準備活動を3週間弱という時間で行います。教職員は、子どもたちがスポフェス当日に自信をもって活動し、力を発揮できるよう、内容や計画を練り直しました。児童は、担任と活動のめあてをしっかりと確認し、楽しみにしていた思いを一気にはじけさせるかのように夢中で練習や準備に取り組みました。

こうした各学年の活動に加え、5・6年生はスポフェス運営の準備を進めていきました。学年演技練習に加え、受け持つ仕事の調整をし、下級生に説明をするなどの生き生きとした上級生の活躍が、学校全体のスポフェスへの意欲を高めていったのです。絆活動が難しい状況が続いた今年度、このように自分たちの集団全体のために体を動かし、心を使う5・6年生の姿は、1年生から4年生までの児童にとって憧れる姿であり、今後自分たちが目指したい目標としての姿ともなりました。

毎年、藤塚小学校の子どもたちはその年の精一杯の活動を積み重ね、スポフェスのバトンを次の年につなげてきました。昨年度に続き今年度も、友だちとの活動が制限される大きな困難の中にありますが、『ふじのはな』をスローガンに掲げ、今年も今できる最高のふじづかスポーツフェスティバルを目指します。

保護者・地域の皆様方におかれましては、本校のスポフェスを毎年楽しみにしていただき、あたたかいご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。児童の活動の様子や一生懸命取り組む姿を、学校だよりや学校HP等のできる限り発信していきたいと思っております。ご覧いただき、児童への励ましのお言葉などいただけましたら、大変ありがたいです。

今後とも、何卒よろしく願いいたします。

